

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

## ～目 次～

◆ 重点項目の実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
◆ 法人運営事業【総務係】	・ ・ ・ ・ ・	P6
◆ 地域福祉事業【地域福祉係】	・ ・ ・ ・ ・	P13
◆ 生活支援事業【生活支援係】	・ ・ ・ ・ ・	P28
◆ 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】	・ ・ ・ ・ ・	P37
◆ 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】	・ ・ ・ ・ ・	P46
◆ その他	・ ・ ・ ・ ・	P52
◆ 事務機構図	・ ・ ・ ・ ・	P53

# 令和4年度 事業報告書

令和4年度の亀山市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域共生社会の実現に向け、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉計画及び中期経営計画、年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

## <重点項目の実績>

### 1 組織基盤の強化

---

#### 〔実績評価及び今後の課題〕

令和4年度に、法人の使命・経営理念の実現に向け、地域福祉を推進する組織として、本会が将来にわたって安定的に事業を継続するために令和8年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画を策定しました。

本年度は、本計画に位置付けている相談支援体制の充実に向け、職員連携ミーティングを実施することとし、法人内でも各分野における相談支援事業間の連携や情報共有をスムーズに行えるよう取り組みました。

また福祉サービス事業所の体制強化、財政基盤の強化として、生活介護事業所なかまの部屋の見直しについて、運営委員会をはじめ、理事会、評議員会で協議を重ね、令和4年度末をもって閉所することとしました。

財政面においては、令和4年度の法人全体の収支状況はマイナス収支差額となりましたが、共同募金配分金の前期末支払資金残高からの分担金支出が主な要因であり、障害福祉サービス事業と訪問介護事業を合わせた福祉サービス事業についてはマイナス収支差額が解消されました。引き続き三役会等で福祉サービス事業についての経営状況の分析を行い、今後も安定した事業経営を行ってまいります。

また、近年の多様化・複合化する福祉課題に対応できるよう、計画的な専門職の人材育成・人材確保やリスク管理、コンプライアンスに対する管理体制の強化など組織強化を図っていく必要があることから、引き続き本計画に基づき経営基盤の整備を着実に進めてまいります。

### 2 第2次地域福祉計画（後期）の推進

---

#### 〔実績評価及び今後の課題〕

市と一体的に策定した第2次地域福祉計画（後期）の推進に向け、亀山市地域福祉推進委員会において、前期計画の進捗報告を行うとともに、後期計画の主な取り組みである重層的支援体制整備事業や令和4年度から新たに実施した成年後見サポート事業についての進捗報告を行いました。

また毎年、市と社協が各地域まちづくり協議会（福祉委員会）の場で計画の説明を行うとともに、本会においても職員が重層的支援体制整備事業のイメージを共有し共通の認識をもって地域福祉を推進していけるよう研修会を実施し、計画及び事業に対する理解を深めました。

引き続き、行政をはじめ地域福祉にかかる関係機関・団体等と連携しながら、市民や地域の支援者、市民活動団体、福祉事業者などとの協働により、計画の進行管理を行いながら地域福祉活動の推進を図ってまいります。

### 3 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業の推進

---

#### 〔実績評価及び今後の課題〕

亀山市が令和4年度から取り組んでいる本事業について、本会としても市と一体となって、複合的な課題を抱える世帯等に対し、分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談支援包括化推進員と4名(専任2名、兼任2名)のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が連携し、課題解決に向け取り組みました。

毎年、市と社協が市の窓口業務を担う部署や小中学校等に説明を行うことで、潜在化している困難ケースの早期発見に繋がるとともに、関係機関が集まって担当者会議を重ねることで、共通の認識をもって課題解決に向け支援できる体制ができつつあります。

令和4年度の相談件数は新規50件、延べ1,412件(前年比:新規+11件、延べ△28件)と多くの相談支援にあたりましたが、相談内容の多くはすぐに解決する課題ではなく、長期的な支援(伴走型)が求められることから、社会参加や就労などの出口支援につなげる働きかけや社会資源の開発などが必要になってきます。また、これらの相談支援を行う専門職の人材確保及び人材育成も課題となります。

今後も引き続き、重層的支援体制整備事業の中で位置づけられている「包括的相談支援事業」「多機関協働事業」「アウトリーチ事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」の各事業について、本会に配置している、各部門の専門職が各機関と情報共有・連携しながら個別支援、地域支援、しくみづくりを行っていくとともに、ひきこもり支援としての居場所づくりの検討、就労支援や地域への参加等につなげる参加支援への取り組みの充実を図っていきます。

### 4 成年後見制度の活用促進

---

#### 〔実績評価及び今後の課題〕

適切な後見人の選任を行うマッチング機能と意思決定支援・身上保護を重視した後見活動を行う後見人支援機能を備えた中核機関として、8月から成年後見サポート事業を受託し、判断能力が不十分な高齢者や障がい者、そのご家族や関係機関からの相談に応じました。

市及び社協の広報誌、ホームページでの周知やチラシの発行、関係機関などに制度と相談窓口開設についての説明に出向きました。しかしながら、裁判所への申立書類の作成が煩雑なことや、専門職に対する後見報酬が発生することなどを理由に申立を躊躇する相談者もみえることから、引き続き関係機関などへの周知や、市民向けにイベントを開催する等、さらなる広報啓発に努めます。

また、市と共同で法律や福祉・医療の関係団体から選出された委員と情報交換等を行う法福連携ネットワーク協議会の開催や、成年後見サポート(受任調整)会議で申立支援を行う案件について、対象者の実情に応じた後見人等が選任できるよう、その候補となる関係機関の調整を行いました。

さらには、本会が法人として後見人業務を担う法人後見も1件受任し、判断能力が不十分な方の支援にあたっています。引き続き市と連携しながら、事業の推進に努めていきます。

## 5 地域包括ケアシステムの実現に向けた機能強化

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

令和3年度に行われた地域包括支援センターの圏域再編により、本会は基幹型地域包括支援センターを受託し、従来の地域包括支援センター機能に加えて、各地域包括支援センターの地域ケア圏域会議の開催支援等を行ってきました。

相談件数は、各地域包括支援センターが市民に浸透してきたことにより、直接の相談は減少しておりますが、各地域包括支援センターに寄せられた複雑化した困難な相談についても、各機関と情報共有・連携し対応しました。また、職種毎のワーキングを行い、それぞれの課題について検討し、フレイル予防のための川崎地区ますます健康教室の立ち上げや、デイサービス事業所向けに虐待予防の周知啓発につなげました。また、10月からは新たに理学療法士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等の専門的な助言を通じケアマネジメントの向上につなげる自立支援型地域ケア会議を開催しています。この会議を通じて、個別事例の積み上げから地域課題の解決につなげていくとともに、引き続き各地域包括支援センターへの後方支援を行っていきます。

生活支援コーディネーターが中心となり、地域における支え合い・助け合いのしくみづくりとして、市内地域まちづくり協議会に対して「ちょこボラ（ちょっとした・ボランティア）」の周知・啓発を行うとともに、令和4年度は新たに城北地区で城北サポート隊の立上げ支援を行いました。また、社会資源やインフォーマルな活動の見える化を図るために「地域福祉カルテ」及び「高齢者のための社会資源のしおり」を関係機関の協力を得て内容を更新しました。今後、より地域での支援に活用できるよう内容の見直しを図っていきます。

認知症に関する正しい知識の普及を行うため、小学生から高齢者まで年代に応じた認知症サポーター養成講座を実施しています。また、認知症初期集中支援チーム（名称：カナリアチーム）が本人や家族、地域の支援者などから個別相談を受け、医療機関や福祉サービスにつながるよう支援をしています。認知症の相談窓口として、働く世代の方がより相談しやすい環境を整えるため、11月から新たにグーグルフォームでの受付を開始しました。今後も企業等へのチラシの配布を行うなど周知を図っていきます。

## 6 ボランティア活動の推進及び災害ボランティアセンターの機能強化

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

ボランティア活動を支援するため、ボランティアセンターとして団体及び個人登録者に対し、団体助成、ボランティア活動保険の助成等を行うとともに、ニーズに応じたボランティアコーディネートを行いました。ボランティアセンター登録者数は活動者の高齢化やコロナ禍で解散された団体もあり減少傾向ですが、ボランティアコーディネート数は前年度とほぼ同数でした。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も緩和されつつあり、ボランティア養成講座や登録ネットワーク会議、交流会など開催することができました。今後もニーズや状況に応じて、生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーと連携し、ボランティアや市民活動による支援を必要としている人と活動団体をつなげるコーディネート機能の強化を図りながら、引き続きボランティアセンター登録団体の周知・PRを積極的に行っていきます。

災害ボランティアセンターについて、行政をはじめ関係団体、ボランティア、近隣社協など多数の関係機関の参画のもと、3年ぶりに災害ボランティアセンター設置・運営訓練を開催することができました。実際の災害時を想定し訓練をすることで緊張感もあり、参加者もイメージを持

つ機会となりましたが、各担当の配置人数や様式の整理など課題の発見もあり、今後はマニュアルの見直しも含めて継続して訓練ができるよう取り組んでいきます。

また、広域的な災害に備え三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会では研修会を実施し、平時より顔の見える関係性を構築し、連携強化に努めています。

## 7 サロン活動の推進

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

高齢者対象のふれあい・いきいきサロンは、新規で1か所立ち上がり計84か所（前年比△7）、子育て中の親子対象の子育てサロンは新規で1か所立ち上がりましたが、1か所休止となったため計5か所（前年比±0）、地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンは、計14か所（前年比±0）となりました。昨年度と比較して7か所減の合計103か所でサロン活動が行われました。各サロンに助成を行うとともに、地域の状況や福祉課題の把握に努め、活動の情報発信を行いました。

また、令和4年度については、2年ぶりに事業説明を兼ねた交流会を開催し、団体同士で交流を深めることによりサロン活動の充実を図りました。

さらに、ふれあい・いきいきサロンの情報を多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）に共有したり、生活支援コーディネーターが作成した「高齢者のための社会資源のしおり」に活動団体を掲載することで、サロンを利用したいニーズと団体のコーディネートにつなげています。

引き続き、団体の活動状況や、活動する上での課題の把握を行うとともに、高齢者の通いの場としてより身近な地域での開催が期待されるサロン活動をさらに広げていきます。

## 8 福祉教育推進事業の充実

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

市内の学校（園）に様々な福祉体験学習やボランティア活動、地域のサロンとの交流を通して、福祉に関する関心を高めることを目的に福祉教育推進事業を実施しました。令和3年度より2年間、昼生保育園、関小学校、亀山高等学校の3校（園）をモデル校に指定し、社協と協働で年間のプログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市内福祉施設等の協力のもと毎年実施していた中学生福祉体験教室は昨年度に引き続き本年度も中止になりましたが、市内の高齢者施設の協力のもと、オンラインで施設と中学校をつなぎ、施設の紹介や職員、利用者とインタビューを行うなど、少しでも福祉の現場に触れる機会がもてるよう取り組みました。また、2年間できていなかった生徒による街頭募金活動については、11月から2月にかけて実施することができました。

本会のすべての部門の職員が福祉教育の視点を持ち、本事業に参画し、専門性を活かして学校と関われるよう、モデル校をはじめ他の学校からの依頼について、コロナ禍に配慮した上で、車いす体験や点字ブロック、ユニバーサルデザインについてなどの福祉教育授業を行い、高齢者や障がいのある方に対する理解に取り組みました。

今後も、学校（園）と連携しながら積極的な福祉教育の推進に取り組んでいきます。

## 9 福祉サービス事業の充実

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

生活介護事業では、なかまの部屋の事業運営について、運営委員会や理事会、評議員会での協議を重ね、令和 4 年度末をもって閉所することとしました。利用者及び家族への説明を丁寧に行うとともに、利用者が混乱しないよう徐々につくしの家の利用者と交流を深める機会を増やしていきました。今後も引き続き、利用者一人ひとりに合った支援を心がけるとともに、地域の小学校や大学生、民生委員・児童委員との交流や余暇活動の充実を図っていきます。

特定・障害児相談支援事業所を含めた障害福祉サービス事業所としての収支状況は、マイナス収支差額となりましたが、令和 5 年度以降は改善する見込みであることから、継続して安定した経営に努めていきます。

訪問介護・居宅介護事業については、登録訪問介護員の退職などもあり、新規利用者の受入が積極的に行き届かなかったことから、昨年度と比べて収入が大幅に減少しましたが、収支状況としては昨年度に引き続きプラス収支差額となりました。一方で、職員研修の実施や訪問介護事業所連絡会への参加を通じ、資質の向上に努めましたが、依然として人材確保、人材育成は大きな課題となっています。

これらの福祉サービス事業については、業務継続に係る取組みや感染症対策の強化に係る取組みが義務化されることから、事業所の体制整備を図るとともに、関係機関と連携しながら、質の高いサービス提供をしていきます。

## 10 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

---

### 〔実績評価及び今後の課題〕

亀山市内に事業所を持つ社会福祉法人（14 法人）が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進するため、亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び事務局業務等の支援を行いました。コロナ禍の対応で各法人が苦慮するなか、意見交換会など他の法人の状況や情報共有する場があることで、法人間の連携ができてきています。今後も市内の法人が相互協力し合いながら地域における公益的な取り組みを推進していきます。

# 1 法人運営事業【総務係】

## 1 会務の運営

### ①理事会（4回）

#### 第1回 令和4年5月2日（月）【書面決議】

##### 議 題

議案第1号 令和4年度共同募金配分金の助成について

#### 第2回 令和4年6月3日（金）【出席者】理事10名、監事1名

##### 議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について

議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会心配ごと相談所相談員の選任について

議案第3号 令和4年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第4号 定款の変更について

議案第5号 事務局規程の一部改正について

議案第6号 経理規程の一部改正について

議案第7号 正規職員賃金規程の一部改正について

議案第8号 亀山市社会福祉協議会中期経営計画の策定について

議案第9号 令和3年度 事業報告及び決算について

議案第10号 第1回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

#### 第3回 令和4年12月5日（月）【出席者】理事8名、監事2名

##### 議 題

議案第1号 第2回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

その他 指定障害福祉サービス事業所「つくしの家」の従たる事業所「なかまの部屋」の閉所に向けた取組みと今後の運営について

#### 第4回 令和5年2月27日（月）【出席者】理事9名、監事2名

##### 議 題

議案第1号 評議員選任候補者の選考及び推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について

議案第2号 指定生活介護事業所つくしの家運営規程の一部改正について

議案第3号 経理規程の一部改正について

議案第4号 正規職員賃金規程の一部改正について

議案第5号 正規職員育児・介護休業規程の一部改正について

議案第6号 令和4年度 資金収支（二次）補正予算について

議案第7号 令和5年度 事業計画及び資金収支予算について



- 議案第 8 号 令和 5 年度 役員等賠償責任保険契約について  
議案第 9 号 第 3 回評議員会の招集について

## ②評議員会（3 回）

### 第 1 回 令和 4 年 6 月 23 日（木）【出席者】評議員 17 名

#### 議 題

- 議案第 1 号 理事の選任について  
議案第 2 号 定款の変更について  
議案第 3 号 令和 4 年度 資金収支（一次）補正予算について  
議案第 4 号 令和 3 年度 事業報告及び決算について

### 第 2 回 令和 4 年 12 月 19 日（月）【出席者】評議員 15 名

#### 議 題

- 報告事項 令和 4 年度 中間事業報告（令和 4 年 4 月～9 月）について  
その他 指定障害福祉サービス事業所「つくしの家」の従たる事業所「なかまの部屋」の閉所に向けた取組みと今後の運営について

### 第 3 回 令和 5 年 3 月 15 日（水）【出席者】評議員 16 名

#### 議 題

- 議案第 1 号 令和 4 年度 資金収支（二次）補正予算について  
議案第 2 号 令和 5 年度 事業計画及び資金収支予算について

## ③評議員選任・解任委員会（2 回）

### 第 1 回 令和 4 年 6 月 8 日（水）【出席者】選任・解任委員 5 名

#### 議 題 評議員の選任について

### 第 2 回 令和 5 年 3 月 3 日（金）【出席者】選任・解任委員 4 名

#### 議 題 評議員の選任について

## ④監事監査（2 回）

### 第 1 回 令和 4 年 5 月 26 日（木）【出席者】監事 2 名

#### 議 題 令和 3 年度 事業報告及び収支決算の監査について

### 第 2 回 令和 4 年 10 月 31 日（月）【出席者】監事 2 名

#### 議 題 令和 4 年度中間監査について（令和 4 年 4 月～9 月）

## ⑤三役会（会長・副会長・常務理事）

### 第 1 回 令和 4 年 4 月 26 日（火）

- 議 題 (1) 理事会（書面決議）提出議案について  
(2) 令和 4 年度福祉ボランティア基金助成について  
(3) 各係の目標について

## 第2回 令和4年5月25日（水）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

## 第3回 令和4年9月26日（月）

議 題 （1）福祉サービス事業系の運営について

（2）成年後見サポート事業について

（3）令和5年度 正規職員採用について

## 第4回 令和4年10月26日（水）

議 題 （1）令和4年度 中間事業報告（令和4年4月～9月）について

## 第5回 令和4年11月27日（日）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

## 第6回 令和5年2月19日（日）

議 題 （1）理事会及び評議員会提出議案について

## ⑥行政監査

### 市監査委員による監査

財政援助団体等監査（令和3年度分） 令和4年11月22日（火）

## ⑦第三者委員報告会

利用者等からの苦情に対して社会性や客観性を確保するとともに、利用者等の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置し報告会を行いました。

実施日 令和5年3月24日（金）

場 所 社会福祉センター

内 容 令和4年度 苦情受付件数及び対応件数 1件

（うち話し合いへの第三者委員の助言、立ち合い 0件）

## ⑧各種団体等への事業説明・意見交換会

### （1）亀山市議会教育民生委員会との意見交換会

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 令和4年8月10日（水）

場 所 市役所 第1・2・3委員会室

内 容 社会福祉協議会との意見交換会

出席者 会長他職員4名

## 2 基盤の強化

### ①会員制度の啓発及び推進

（単位：名、円）

実施期間	普通会員	特別会員	4年度	3年度	増減額
7月	10,219	4	3,354,540	3,448,110	△93,570

## ②中期経営計画の策定

法人の使命・経営理念の実現に向け、地域福祉を推進する組織として、本会が将来にわたって安定的に事業を継続するために中期経営計画を策定しました。

策定時期 令和4年6月

計画期間 令和4年度～令和8年度（5年間）

## ③人材育成計画・研修計画の推進

人材育成計画に基づき、各係の目標を設定し、職員面談等を行いながら、各職員が係の目標に到達できるよう取り組むべき行動目標を示すとともに、職員別育成計画書に基づき、職員の人材育成に取り組みました。また毎年策定する研修計画に基づき、職員に対し階層別研修及び専門研修を計画的に実施しました。

## ④相談支援業務充実に向けた職員連携ミーティングの実施

福祉課題が多様化・複合化する中、法人内でも各分野における相談支援事業間の連携や情報共有をスムーズに行えるよう、4年度より月1回、係を超えて相談支援業務充実に向けた職員連携ミーティングを実施しました。

実施回数 12回

## 3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

### ①第18回亀山市社会福祉大会

市と共催で、亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 令和4年11月17日（木）

場 所 亀山市中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 「0を1」に変え、人と社会を心でつなぐ

～ひきこもりの理解と支援、当事者の視点から～

講師 一般社団法人h i t o . t o c o（ヒトトコ）

代表理事 宮武 将大 氏

参加者 約120名

#### 4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

(単位：名、回)

	4年度	3年度	増減
登録者数	41	47	△6
延べ運行回数	2,202	2,132	70

<4年度内訳>

(単位：円、回)

月	運行費 (年会費含む)	内 容			運行 回数
		リハビリ・診察	透析	その他	
4	98,600	57	172	5	234
5	63,400	38	161	2	201
6	70,000	50	164	5	219
7	59,800	49	141	2	192
8	61,800	48	142	12	202
9	54,000	42	123	6	171
10	58,600	64	116	3	183
11	54,600	49	127	5	181
12	48,800	68	83	11	162
1	34,800	52	82	1	135
2	35,200	53	91	0	144
3	49,200	63	112	3	178
計	688,800	633	1,514	55	2,202

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

#### 5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
車椅子	193	290	△97
歩行器	1	1	0

## 6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

(単位：円)

	4年度	3年度	増減
収入金額	2,090	12,607	△10,517

## 7 日本赤十字社との連絡及び協力

### ①日本赤十字社社資募集 (単位：円)

実施期間	4年度	3年度	増減額
5月	4,672,450	4,782,100	△109,650

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

## 8 亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び支援

市内に事業所がある社会福祉法人が相互に連携及び情報共有、地域における公益的な取り組みを推進するため、亀山市社会福祉法人連絡会への参画及び事務局支援を行いました。

### ①連絡会の運営

#### ◆総会（1回）

第1回 令和4年5月13日（金）【オンライン開催】

協議事項（1）令和3年度 事業報告及び収支決算について

（2）令和4年度 事業計画及び収支予算について

参加団体 12法人、亀山市（オブザーバー）

#### ◆役員会（1回）

第1回 令和5年1月27日（金）

協議事項（1）役員の選任（案）について

（2）令和4年度の事業内容について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について

（4）意見交換会、全体会について

参加団体 4法人

#### ◆全体会（1回）

第1回 令和5年3月8日（水）

協議事項（1）役員の選任（案）について

（2）令和4年度の事業内容について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について

（4）令和5年度 事業計画（案）と予算（案）について

参加団体 10 法人、亀山市（オブザーバー）

## ②意見交換会の開催

魅力ある法人運営について意見交換会を開催し、喫緊の課題である福祉・介護人材の養成と確保等について、各法人の現状の情報交換を行いました。

実施日 令和5年3月8日（水）

場 所 社会福祉センター

テーマ 社会福祉法人の会務・労務管理・財務管理について

ファシリテーター G-up Coaching 代表 葛巻 直樹 氏

参加団体 10 法人

## 9 福祉団体の事務及び助成

### ①団体事務局

- (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- (2) 亀山市老人クラブ連合会
- (3) 亀山保護司会
- (4) 亀山更生保護女性会
- (5) 亀山市遺族会

### ②団体助成

- |                       |           |           |
|-----------------------|-----------|-----------|
| (1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会 | （共同募金配分金） | 100,000 円 |
| (2) 亀山更生保護女性会         | （共同募金配分金） | 100,000 円 |
| (3) 亀山市自治会連合会         | （共同募金配分金） | 330,000 円 |

## 2 地域福祉事業【地域福祉係】

### 1 第2次亀山市地域福祉計画（後期）の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心した暮らしが続けられるよう、住民と福祉関係の事業者・団体、行政が力を合わせて地域の福祉課題の解決に向け取り組み、地域共生社会の実現を図るため亀山市と一体的に策定した第2次亀山市地域福祉計画（後期）の推進に努めました。

#### ①亀山市地域福祉推進委員会の開催

第1回 令和4年7月6日（水）【出席者】委員12名

議 題

- ・第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画(前期)の進捗について
- ・第2次地域福祉計画(後期)の進捗における主な取組について

#### ②職員研修の実施

第2次地域福祉計画（後期）の重点的な取り組みである、重層的支援体制整備事業のイメージを共有し、職員が共通の認識をもって地域福祉を推進していくことを目的に、研修会を実施しました。

実施日 令和4年5月25日（水）

場 所 社会福祉センター

テーマ 第2次亀山市地域福祉計画（後期）と重層的支援体制について

内 容 講義及びグループワーク

講 師 株式会社日本開発研究所三重 研究部長 舘 啓司 氏

亀山市健康福祉部地域福祉課福祉総務グループ

相談支援包括化推進員 西 秀人 氏

出席者 17名

## 2 地域福祉力向上重層的支援体制整備事業

### コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 <市受託事業>

既存の法制度では支援することが困難な「制度の狭間」の問題（ゴミ屋敷、引きこもり、孤独死など）、多様化・複合化する福祉課題の解決に取り組むとともに、地域で福祉課題を解決する仕組みを構築し、地域における助け合い・支え合い活動を支援するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を設置しました。（専任2名、兼務2名の計4名）

#### ①相談実績

##### ◆相談件数

（単位：件）

	個別支援					地域支援	4年度	3年度	増減
	高齢	障がい	母子 (子育て)	その他 (困窮者)	複合的な課題 を抱えた世帯				
新規相談	7	8	1	22	8	4	50	39	11
延べ相談	12	379	4	333	602	82	1,412	1,440	△28

## ◆相談経緯（新規）

（単位：件）

	本人	民生委員 福祉委員	地域 住民	家族	福祉 機関	医療 機関	行政 機関	教育 機関	その他	4年度
相談件数	9	5	5	4	11	1	10	2	8	55

※重複あり

## ②地域への周知・関わり・会議への参加

地域での話し合いの場に参加	8回
福祉委員会への参加	21回
地域ケア会議	7回

## ③多機関協働による包括的支援体制の推進

市では複合的な課題を抱える世帯等に対し、分野を超えた多機関による支援が行えるよう、市に配置している相談包括化推進員とコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が連携し課題解決に向け取り組む包括的支援体制を推進しています。CSWにつなぐ「つながるシート」を活用し、小中学校等における福祉課題を抱えた世帯を支援につなぐ「教福連携」の推進、また市の窓口業務がある部署を中心に、福祉課題を相談支援につなげることができるよう全庁展開を図りました。

- ・ 支援会議・相談支援包括化サポート会議の開催：12回（月1回開催）
- ・ サポート担当者会議：19回
- ・ トータルケアプラン作成件数：16件（新規9件、継続7件）
- ・ 終結件数：7件
- ・ 多機関協働による包括的支援体制づくり（全庁展開）に向けた説明会  
総務財政部、市民文化部、産業環境部、上下水道部、教育委員会、地域医療部（計17課）  
小中校長会、小中教頭会、幼稚園長会、保育園長会、三重県教職員組合亀山支部青年部、  
消費生活センター、若者就業サポートステーションみえ等の関係機関

## ④先進地視察

第2次亀山市地域福祉計画（後期）に位置付けている取組み、施策の実現に向け、先進的に取り組んでいる自治体への視察を市とともに実施しました。

実施日 令和4年10月27日（木）  
場 所 岡山県総社市  
内 容 総社市における引きこもり支援センターの実践

実施日 令和5年1月12日（木）  
場 所 愛知県豊田市  
内 容 多世代参加支援プロジェクト（参加支援事業、就労準備事業の取組み）



### 3 小地域ネットワーク活動事業

#### ①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 22 地区 338 名の方に委嘱しました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行うとともに、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計 338 名 (3 年度 340 名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位：名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業（主な事業）
1	昼生	7	小学生と一人暮らし高齢者訪問、たこあげ教室
2	井田川南	27	ふれあいグランドゴルフ大会、高齢者訪問
3	井田川北	41	高齢者への花プレゼント（訪問活動年 2 回）
4	川崎	28	高齢者訪問
5	野登	16	一人暮らし高齢者訪問配食、天空の森ウォーキング
6	白川	10	小学生との一人暮らし・二人暮らし訪問活動、そば作り交流
7	神辺	16	高齢者訪問、ふれあいキッズカフェ、ふれあい健康体操
8	野村	26	高齢者訪問、いきいきサロン、ぴよぴよサロン
9	城東	5	しろやまさろん、高齢者訪問
10	城西	10	高齢者訪問
11	城北	8	一人暮らし高齢者訪問、全戸訪問活動
12	御幸	9	高齢者訪問、感謝のつどい
13	本町	5	いきいきサロン「地域の茶の間」、春のつどい
14	北東	7	一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば、クリスマス会、全戸訪問活動
15	東部	30	高齢者訪問、記念品に添えるメッセージ募集、老人球技大会
16	天神・和賀	11	一人暮らし高齢者訪問活動、ミニサロン
17	南部	9	高齢者訪問
18	関宿	36	高齢者見守り訪問活動、ゴキブリ団子作り
19	関北部	7	高齢者訪問、もちつき大会
20	関南部	12	高齢者訪問、民生委員との情報交換会、ふれあい交流会
21	加太	7	高齢者訪問
22	坂下	11	訪問配食活動、敬老会、ふれあい交流会
	計	338	

## ②福祉委員研修会

### (1) 福祉委員新任研修会

福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上を図るために、個人ワークを用いながら、新任の福祉委員を対象に研修会を2回に分けて開催しました。

実施日 令和4年7月8日(金)、15日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義及び個人ワーク

テーマ 『福祉委員の役割を地域の身近な「見守り活動」から考えあってみましょう』

講 師 地域福祉係

参加者 68名

### (2) 福祉委員研修会(障がい理解について)

障がいの概念や生活のしづらさ、関わり方を学び、全ての方が住み慣れた地域でお互いに支え合い生活し続けられるよう共生社会の実現に向け研修会を開催しました。

実施日 令和4年11月7日(月)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義

テーマ 『障がいがある』ってどんなこと?

講 師 市健康福祉部地域福祉課障がい者支援グループ 村主 健太郎 氏

障害者総合相談支援センターあい 廣瀬 雅也 氏

参加者 45名

### (3) 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

実施日 令和5年1月28日(土)

場 所 社会福祉センター

内 容 講義及び個人ワーク

講 師 地域包括ケア推進係

参加者 38名

## ③安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

地区福祉委員会を中心に地域内の75歳以上ひとり暮らし高齢者を対象に見守り訪問活動を行い、不織布マスクを配布しました。

実施地区 22地区

実施期間 令和4年12月～令和5年3月

(単位:件)

	4年度	3年度	増減
配布数	1,001	948	53

#### 4 ボランティアセンター事業

##### ①ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	4 年 度	3 年 度	増 減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	15	15	0
2	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	9	9	0
3	NPO 法人ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	41	42	△1
4	オカリナアンサンブル・ラルゴ	オカリナ演奏で高齢者施設へ慰問	4	3	1
5	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	12	12	0
6	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	11	11	0
7	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	9	9	0
8	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	5	5	0
9	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	13	15	△2
10	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	14	14	0
11	亀山社中	地域福祉イベントの企画・運営	3	3	0
12	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	10	11	△1
13	かめやま防災ネットワーク	防災に関する出前講座の実施	13	15	△2
14	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	12	12	0
15	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	15	11	4
16	亀山ボードゲーム会ひっと	ボードゲームを通じた地域交流、イベントの実施	3	3	0
17	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	4	4	0
18	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	20	20	0
19	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	3	3	0
20	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	20	22	△2
21	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	9	10	△1
22	国鉄・JR親睦会	福祉活動、奉仕活動全般	11	11	0
23	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	101	102	△1
24	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	14	15	△1
25	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	50	33	17
26	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	22	22	0
27	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	6	6	0
28	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	13	16	△3
29	(特非) 亀っ子サポート	生きづらさを持つ青少年に並走型サポート	31	31	0
30	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	28	30	△2
31	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	35	35	0
32	みっくすどろっす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
33	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	19	19	0

34	リンパ浮腫ケアと運動療法を楽しむ会	リンパについての講演会等の実施	5	6	△1
35	エアプランツ	乳がんについての広報活動、乳房パット作り	4	4	0
36	個人ボランティア	災害支援等	4	6	△2
	あゆみの会	福祉施設ボランティア等		5	△5
	和の会	障がい者の集まる居場所づくり		10	△10
	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等		6	△6
	車椅子レクダンス協会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問		11	△11
	心のバリフタウン推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成		12	△12
	たんぼぼ	福祉施設ボランティア、こどもボランティア教室等		4	△4
	童謡ボランティア	華旺寿での童謡ボランティア		4	△4
	南京玉すだれはり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの披露		5	△5
	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺の環境整備等		7	△7
	ブルメリアフレンズ	福祉施設・病院等での音楽イベントの実施		7	△7
合計			592	660	△68

## ②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事用保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件数	40	46	5	1
人数	1,881	2,628	1,658	50

## ③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートをいたしました。

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
相談件数	33	28	5

#### ④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施しました。

実施日 令和5年3月3日（金）

場 所 社会福祉センター

内 容 令和5年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 11団体12名

#### ⑤ボランティア講座

ボランティア活動に関心を持ち、また潜在的なボランティア活動者がボランティア活動を始めるきっかけ作りになるようボランティア養成講座を実施しました。

実施日 令和5年2月10日（金）、17日（金）、24日（金）

3月10日（金）、17日（金） 【全5回】

場 所 社会福祉センター

内 容 朗読ボランティア養成講座

講 師 亀山朗読奉仕会

受講者 2名

#### ⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図る目的に実施しました。

実施日 令和5年3月3日（金）

場 所 社会福祉センター

内 容 ボランティア活動発表及び意見交換会

参加者 11団体12名

#### ⑦災害ボランティアセンター

##### (1) 災害ボランティアセンター設置訓練

亀山市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施しました。

実施日 令和5年2月4日（土）

場 所 社会福祉センター

内 容 事前研修、設置・運営訓練

講 師 一般社団法人ピースボード災害ボランティアセンター 垣貫 紀彦 氏

参加者 31名（社協職員14名、市職員7名、災害ボランティア2名・亀山ライオンズクラブ1名・他市町社協職員7名）

##### (2) 災害ボランティアセンター資機材の整備

災害ボランティアセンター運営における災害時対応資機材の整備を行いました。

【新たに整備した資機材】ポータブル電源、携帯シート

### (3) 三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会

平時より三泗鈴亀ブロック内の市町社協の災害復興に係る取り組みを充実し、有事の際においても広域的な応援体制を円滑に行えるよう三泗鈴亀ブロック社協災害時広域連携協議会が設置され、広域連携訓練を実施しました。また他市町社協が実施する災害ボランティアセンター設置運営訓練等に参加しました。

実施日 令和5年2月28日(火)

場 所 川越町いきいきセンター

参加者 16名(うち本会職員2名)

#### ○朝日町社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営訓練研修会への参加

実施日 令和4年12月4日(日)

場 所 朝日町保健福祉センターさわやか村

参加者 本会職員1名

### ⑧災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風などに伴う警報発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

### ⑨福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

(単位：団体、円)

	4年度	3年度	増減
団体数	6	6	0
助成金額	405,000	455,000	△50,000

### ⑩あいあい祭り 2022 ～であい ふれあい ささえあい～<福祉ボランティア基金事業>

あいあい祭り実行委員会事務局として、準備委員会において開催の可否を検討しました。

#### ◆準備委員会の開催

実施日 令和4年7月11日(月)

場 所 社会福祉センター

内 容 あいあい祭り 2022(仮)の開催の可否について

※あいあい祭り 2022は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

## 5 福祉教育推進事業

### ①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

小中学校及び高等学校における福祉教育について、各学校の総合学習での福祉授業をはじめ、ボランティア紹介などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。また、学校と更なる連携を図るため、モデル校を指定するとともに、保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育ていけるよう助成事業を行いました。

- ・助成事業：計 1,900,000 円 (@50,000×14 校、18 園 モデル校@100,000×2 校、1 園)
- ・令和 4 年度モデル指定校、園：昼生保育園、関小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	12	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生（モデル園）、和田、川崎南、加太、第三愛護、川崎愛児、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	2	アスレ、亀山愛児
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎、神辺、昼生、白川、関（モデル校）、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山（モデル校）、徳風

#### (1) モデル指定校（園）との関わり

モデル校（園）を指定し、学校（園）と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校（園）名	内 容
昼生保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々と畑での芋ほりやブルーベリー狩りを通じた交流</li> <li>・おさんぽマップ作成</li> <li>・昼生小学校の田植え、稲刈りに参加</li> <li>・園芸を通じて収穫した野菜などを利用し、調理・試食</li> <li>・市バスを利用し、商店街へのお店見学や市内幼稚園・保育園との交流</li> </ul>
関小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の役割について（6年生） 地域の民生委員・児童委員から普段の活動や役割について</li> <li>・関宿バリアフリーマップの作成（6年生） NPO 法人ピアサポートみえの講演とバリアフリーマップ作成 バリアフリーやユニバーサルデザインの理解について</li> <li>・福祉体験（5年生） 車いす体験、高齢者・障がい者疑似体験</li> <li>・認知症キッズサポーター養成講座（4年生）</li> </ul>

亀山高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護や保育への興味関心を高めてもらうため、市内及び近隣中学校に総合生活科の活動をまとめた新聞の配布</li> <li>・ ふれあい・いきいきサロンとの訪問交流</li> <li>・ 75歳以上ひとり暮らし高齢者に手作りのティッシュカバーのプレゼント</li> <li>・ 高齢者施設に手作り作品（小物入れ、カレンダー）のプレゼント</li> <li>・ ジャンボ絵本を制作し、市内の保育園を訪問し子ども達の前で読み聞かせ</li> </ul>
--------	--

## （２）学校からの福祉教育依頼

学校からの福祉教育依頼を受け、学校と社協が共にプログラムを作成し、職員が講師として授業を行いました。

実施日	学校名	内 容
7月12日（火）	亀山西小学校（6年生）	高齢者・障がい者疑似体験 （視野狭窄体験など）
10月18日（火）	亀山東小学校（4年生）	車いす体験、 高齢者・障がい者疑似体験
11月10日（木）	昼生小学校（4年生）	高齢者疑似体験、点字ブロック体験、 車いす体験
11月22日（火）	川崎小学校（3年生）	福祉ボランティア基金の説明
11月30日（水）	関中学校（全学年）	車いす体験、点字ブロック体験
12月14日（水）	徳風高等学校（2年生）	人権学習～ユニバーサルデザインの まちづくりについて～

## ②夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの5日間、市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



### ③オンラインでつながる福祉施設体験

夏休み中学生福祉体験教室が中止になったことから、市内中学校生徒を対象に、オンラインにて福祉施設の概要を知る機会を持ち、高齢者の方などとの交流や福祉体験学習等を通じて、福祉の心を育み、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施しました。

実施日	学校名	施設名
11月14日（月）	中部中学校（36名）	社会福祉法人ケアフル亀山 特別養護老人ホーム 亀寿苑
11月25日（金）	関中学校（16名）	社会福祉法人柘会 特別養護老人ホーム 華旺寿
12月7日（水）	亀山中学校（25名）	社会福祉法人安全福祉会 特別養護老人ホーム 安全の里

### ④街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生らに街頭募金活動を実施しました。

実施日	学校名	場 所
11月25日（金）	中部中学校（14名）	ベーシック亀山店
12月5日（月）	亀山中学校（11名）	亀山ショッピングセンターエコー
12月8日（木）	亀山高等学校（10名）	オークワ亀山店 マックスバリュ亀山店
12月13日（火）	亀山高等学校（10名）	亀山ショッピングセンターエコー オークワ亀山店
12月15日（木）	徳風高等学校（7名）	マックスバリュ亀山
2月22日（水）	関中学校（8名）	フーズアイランド関店

## 6 サロン活動推進事業

### ①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

＜市補助事業・福祉ボランティア基金事業＞

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		4年度 箇所数	3年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	83	85	△2	2,904,000	22,308
	新規	1	6	△5	36,000	
	計	84	91	△7	2,940,000	
子育て	既存	4	5	△1	108,000	1,310
	新規	1	0	1	30,000	
	計	5	5	0	138,000	
コミュニティ	既存	14	13	1	392,491	2,902
	新規	0	1	△1	0	
	計	14	14	0	392,491	
合計		103	110	△7	3,470,491	26,520

### ②子育てサロン交流会

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について意見交換を行うとともに、相互の交流を深めることを目的に開催しました。

実施日 令和5年3月20日(月)

場 所 社会福祉センター

内 容 レクリエーション体験、交流会、令和5年度サロン活動推進助成事業説明

参加者 7名(2団体4名、主任児童委員3名)

### ③コミュニティサロン交流会

市内の「コミュニティサロン」を実施している団体間において、交流を深めることによりサロン活動の充実を図ることを目的に開催しました。

実施日 令和5年3月24日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 やってみよう健康体操、交流会、令和5年度サロン活動推進助成事業説明

参加者 9団体14名

## 7 広報啓発事業

### ①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第70号 令和4年 7月1日「あなたのそばに、福祉委員」等

第71号 令和4年 10月1日「令和3年度決算報告・事業報告」等

第72号 令和5年 1月1日「のぼのあんしんネットができるまで」等

第73号 令和5年 4月1日「ひろがれ！つながる福祉教育」等

### ②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	4年度	3年度	増減
お知らせ・新着情報	32	43	△11
フェイスブック	118	142	△24

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

### ③FM ラジオの情報発信

毎月1回鈴鹿 VoiceFM（78.3Mhz）にて「ラジオかめやま社協だよりに職員が出演し、本会の活動紹介をはじめ、福祉事業についての説明や相談窓口の案内などを行いました。

放送日 毎月第2火曜日 14：20頃から

出演回数 12回（令和4年4月～令和5年3月）

## 8 各種福祉事業

### ①高齢者支援

#### （1）団体助成

◆亀山市老人クラブ連合会 （共同募金配分金） 100,000円

#### （2）歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 1件 3,000円

### ②障がい児（者）支援

#### （1）団体助成

◆亀山市特別支援教育振興会 （共同募金配分金） 130,000円

#### （2）障がい児交流事業 <共同募金配分金事業>

高等学校の生徒と、市内在住の障がいのある児童を対象に、相互の親睦と高校生とのふれあい交流を通して共生社会の実現に向け実施予定でした。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆特別児童扶養手当受給者	100 件	300,000 円
◆障害児福祉手当受給者	40 件	120,000 円
◆特別障害者手当受給者	37 件	111,000 円
◆福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	178 件	534,000 円

③子育て支援

(1) 団体助成

◆亀山市子ども会育成者連絡協議会 (共同募金配分金) 0 円 (60,000 円)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止により助成金返還

(2) 生活保護世帯入学祝金、修学旅行費補助<歳末たすけあい配分金事業>

◆生活保護家庭小中学校修学旅行補助 2 名 20,000 円

(3) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

◆準援護家庭 309 件 927,000 円

◆施設入所児童 6 件 18,000 円

④低所得者支援

(1) 団体助成

◆亀山みんなの食堂 (共同募金配分金) 500,000 円

(2) 歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

◆生活保護世帯 154 件 485,000 円

⑤多文化共生への支援

(1) 団体助成

◆亀山国際交流の会 (KIFA) (共同募金配分金) 60,000 円 (160,000 円)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の一部が中止により助成金返還

## 9 共同募金会との連絡及び協力

### ①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	4年度	達成率	3年度	増減額	前年比
10月～12月	5,442,700	4,871,866	89.5	5,485,136	△613,270	88.8

### ②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	4年度	達成率	3年度	増減額	前年比
10月～12月	2,400,000	2,243,377	93.5	2,274,169	△30,792	98.6

### ③亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回 令和4年4月1日(金)【書面決議】

議 題

- ・会長及び副会長の選任について

第2回 令和4年6月13日(月)【出席者】運営委員8名

議 題

- ・令和3年度 事業報告及び収支決算について
- ・令和4年度(令和5年度充当)一般募金配分申請について
- ・令和4年度歳末たすけあい募金配分申請について

第3回 令和5年3月13日(月)【出席者】運営委員6名

- ・運営委員及び審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- ・令和5年度 事業計画及び収支予算について

### 3 生活支援事業【生活支援係】

#### 1 総合相談事業 <市補助事業>

##### ①福祉なんでも相談

生活困窮者自立支援事業の相談窓口を活用し、福祉全般の相談を受ける「福祉なんでも相談窓口」を開設して、複合的な福祉課題を抱える相談者に対し、支援会議を通じて適切な相談援助を行いました。

##### ②心配ごと相談（公証人等による相談）

市の法律相談と連携しながら、相続、遺言、金銭貸借、離婚等に関することに対して公証人による適切な助言、指導を行う相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員・児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	4年度	3年度	増減
開設日数	23	19	4
相談件数	85	75	10

##### ③社協による法律相談

成年後見制度などの権利擁護に関する相談に対し、弁護士による適切な助言、指導を行うことを目的に毎月30日（土日祝の場合は前の平日に繰り上げ開催）に開催しました。

（単位：日、件）

	4年度	3年度	増減
開催日数	12	10	2
相談件数	30	28	2

##### ④心配ごと相談員研修会

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得を目的に実施しました。

実施日 令和5年2月22日（水）

場 所 社会福祉センター

講 演 「自筆証書遺言制度」をテーマに講義と質疑応答など

講 師 津地方法務局供託課 遺言書保管官 永戸 加代子 氏

参加者 相談員 8名

### ⑤心配ごと相談所打合せ会議

相談員同士の意見交換や実績報告等を行うため、打合せ会議を開催しました。

	第1回	第2回
実施日	令和4年6月20日(月)	令和4年12月23日(金)
場 所	社会福祉センター	総合保健福祉センター
内 容	事業報告、意見交換等	事業報告、意見交換等
参加者	13名	8名

## 2 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

### ◆支援回数

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
認知症高齢者	123	128	△5
知的障がい者	398	358	40
精神障がい者	464	354	110
その他	63	60	3
計	1,048	900	148

### ◆契約者数

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
認知症高齢者	7	9	△2
知的障がい者	19	17	2
精神障がい者	17	12	5
その他	3	2	1
計	46	40	6

### ◆生活支援員関係

(単位：名、回)

	4年度	3年度	増減
生活支援員	13	13	0
派遣回数	844	719	125

## ◆生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施しました。

実施日 令和5年3月9日(木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 「成年後見制度について」をテーマに講義と質疑応答など

講 師 生活支援係

参加者 12名

### ◇日常生活自立支援事業について

今年度は利用者の死亡と養護老人ホームへの入所等で解約が6件ありましたが、新規契約者が12名あり、3月末の利用者数は46名となりました。成年後見サポート事業を開始したこともあり、権利擁護に関する相談が増え新規契約者の増加につながりました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、施設に入所や通所をしている利用者にはなかなか面会できず、昨年度に引き続き施設職員等を通じての支援となりました。

## 3 成年後見サポート事業 <市委託事業>

成年後見制度の利用促進に関する法律と、亀山市地域福祉計画(後期)に基づき中核機関の機能を有する、成年後見サポート事業を市から受託しました。相談支援員1名を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談業務、利用促進のための申立支援等を行うとともに、法人後見も受任しました。

### ①相談実績 (単位:件)

	4年度
新規相談件数	25
延べ相談件数	125

### ②中核機関の設置に向けた検討

中核機関の設置に係る取組状況と今後の見通し、委員の選定などについて関係機関と協議を行いました。

実施日:令和4年7月25日(月)

出席者:弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政、社会福祉協議会

### ③法福連携ネットワーク協議会設置に向けた意見交換

法福連携ネットワーク協議会の設置に向け、関係機関との意見交換を行いました。

実施日 令和4年8月9日(火)

出席者 津家庭裁判所、行政、社会福祉協議会

内 容 法福連携ネットワーク協議会への津家庭裁判所の参画について



#### ④関係機関への周知・説明

相談窓口の開設や制度の周知を行うため、関係機関の会議等に出向きチラシの配布や事業説明を行いました。

関係機関・実施日：居宅介護支援事業所連絡会	令和4年9月28日（水）
老人クラブ連合会理事会	令和4年10月6日（木）
北部地区民生委員児童委員協議会	令和4年10月11日（火）
相談支援事業所担当者連絡会	令和4年10月13日（木）

#### ⑤法福連携ネットワーク協議会の開催

司法と福祉分野との連携方法の検討や情報交換などを行うため、法福連携ネットワーク協議会を開催しました。弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会、医師会等さまざまな分野から選出された委員に、事業の概要等についての説明を行いました。

実施日	令和4年11月10日（木）
場 所	総合保健福祉センター
内 容	委員の委嘱及び会長及び副会長の選任など
出席者	委員12名、家庭裁判所1名（オブザーバー）

#### ⑥成年後見サポート（受任調整）会議の開催

制度利用の申立支援を行う案件等について、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、行政書士会との情報共有や、申立人及び受任候補機関の調整などを行いました。

実施日	令和5年1月17日（火）
場 所	総合保健福祉センター
受任調整件数	2件
出席者	委員4名

#### ⑦法人後見の受任

認知症、知的障がい、精神障がい等により意思決定が困難な方の判断能力を補うために、本会が後見人等となり、被後見人等の財産管理、身上保護を行いました。

#### ◆法人後見実績（単位：件）

	4年度
新規受任件数(補助類型)	1
受任実件数(補助類型)	1
属性	認知症
延べ支援回数	7

◇成年後見サポート事業について

中核機関の設置に向けて、令和4年8月から準備業務を、10月から運営業務を亀山市から受託しました。ホームページへの掲載やチラシを作成するなど、市民をはじめ各関係機関への広報啓発活動を行いました。また法福連携ネットワーク協議会、成年後見サポート（受任調整）会議の設置・運営などを市と連携して進めてきました。

また、事業の受託と同時に法人後見も実施することとし、受任ケースとしては被補助人に関わる弁護士や司法書士、警察、検察庁、刑務所の福祉専門官等とも連携しながら支援を行いました。

本事業においては、司法と福祉の連携が重要であることから、今後も「法福連携」の体制強化に努めていきます。

#### 4 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業と住居確保給付金（必須事業）及び家計改善支援事業（任意事業）を実施しました。また、「福祉なんでも相談窓口」として生活困窮者に限らず複合的な福祉課題を抱えた方からの相談に応じました。専門員3名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

◆相談実績

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
新規相談件数	170	226	△56
延べ相談件数	1,247	1,942	△695
プラン作成件数	18	21	△3
家計改善支援利用件数	14	14	0
支援中断	0	0	0
支援終了	7	7	0
住居確保給付金	12	30	△18

◆年代別構成

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
10～20代	27	41	△14
30～40代	58	89	△31
50～60代	46	55	△9
70代～	24	23	1
不明	15	18	△3

## ◆区分（重複あり）

（単位：名）

	4年度	3年度	増減
高齢者	38	31	7
母子家庭	10	19	△9
障がい者	16	13	3
外国籍	32	53	△21
稼働・失業者等	106	177	△71
ケガ・疾病等	15	8	7
ひきこもり	1	3	△2
不明	8	5	3

## ◆支援会議・相談支援包括化サポート会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い連携を図りました。

開催回数：年間 12 回

## ◆先進地視察

第 2 次亀山市地域福祉計画（後期）に位置付けている取組み、施策の実現に向け、先進的に取り組んでいる自治体への視察を市とともに実施しました。

視察日 令和 5 年 1 月 19 日（木）

場 所 静岡県富士市

内 容 富士市ユニバーサル就労支援センターの取組み

## ◇生活困窮者自立支援事業について

新型コロナウイルス感染症の影響で減収・失職した方からの相談が全体の半数以上を占めていますが、令和 5 年 1 月ごろから相談件数が徐々に減少傾向となってきました。行政からの給付金も可能な限り相談者に情報を届け、申請漏れがないよう支援を行いました。

また、派遣就労等で不安定な雇用条件による生活相談が多く、延べ相談件数の半数以上が外国籍の方からの相談となっています。

## 5 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

### ①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 <県社協受託事業>

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

また新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等で収入が減少した方を対象に新型コロナ特例貸付を実施いたしました。令和4年度は、住民税非課税世帯等への免除手続き、失業や病気等で返済が困難な世帯には据置期間が延長される償還猶予の手続き支援を行いました。

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
相談件数	71	60	11
貸付件数	3	8	△5
長期滞納者の面談	0	0	0

### ◆貸付残高件数 (令和5年3月31日現在)

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
総合支援資金 (生活支援費)	12	12	0
緊急小口資金	23	26	△3
臨時特例つなぎ資金	2	2	0
福祉資金 (その他)	16	14	2
合計	53	54	△1

### ◆新型コロナ特例貸付 (令和4年9月30日で終了)

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
新型コロナ特例貸付相談件数	100	549	△449
新型コロナ特例貸付申請件数	40	275	△235
【内訳】 緊急小口資金	28	108	△80
総合支援資金	12	68	△56
総合支援資金の延長		8	△8
再貸付		91	△91

## ②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		4 年度	3 年度	増減
貸付	件 数	0	0	0
	金 額	0	0	0
償還	件 数	0	0	0
	金 額	0	0	0

◆貸付残高件数（令和 5 年 3 月 31 日現在） (単位：件、円)

	4 年度	3 年度	増減
貸付件数	3	3	0
貸付残高	57,000	57,000	0

## 6 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

### ①生活困窮者支援緊急食糧提供事業・緊急時物品等支援事業（みえ福祉の「わ」創造事業）

NPO セカンドハーベスト名古屋を通じて 3 週間分の食糧を 3 回まで提供しています。可能な限り、食物アレルギーへの対応もしています。

また就職活動の準備のために必要なものや緊急性の高い必要な日用品を提供しています。

(単位：件)

	4 年度	3 年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業	114	134	△20
緊急時物品等支援事業	7	14	△7

### ②三重県食品提供システムポータルみえ〜る（県廃棄物・リサイクル課事業）

企業等の団体から無償で提供される食品について、提供者（企業等）と受取者（フードバンク活動団体等）とのマッチングをウェブ上で行き、食糧支援につなげるシステムを活用しています。

提供回数 5 回

提供食品 アルファ米、カップうどん、食塩、調味料等

### ③生活協同組合コープみえとの生活困窮者対策支援に関する協定

生活協同組合コープみえとの生活困窮者対策支援に関する協定により、コープみえが取り扱う食品や日用雑貨（キャンセル商品や在庫商品等）を無償で提供いただき、支援に活用しています。

提供回数 12回

提供物品 米、パン、カップ麺、レトルトカレー、調味料、飲料、洗剤、マスク等

### ④公益社団法人日本非常食推進機構と覚書を締結

公益社団法人日本非常食推進機構と災害対策用備蓄物資の有効活用に関する覚書を締結しました。この締結により、企業等から無償で寄付される災害対策用備蓄物資（保存食）を提供者（企業等）と受取者（フードバンク活動団体等）とのマッチングをウェブ上でを行い、食糧支援につなげるシステムを活用しています。

締結年月日 令和4年4月1日（金）

提供回数 7回

提供保存食 アルファ米、パン、クッキー、ビスケット、カロリーメイト等

### ⑤亀山市社協災害時等備蓄品

本会が備蓄している災害時等備蓄品（保存用缶入りソフトパン、ビスケット、飲料水）を緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった方に提供しました。

（単位：件）

	4年度	3年度	増減
亀山市社協災害時等備蓄品の提供	3	20	△17

## 7 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

会議への参加 三重県居住支援連絡会全体会議 1回

三重県居住支援連絡会作業部会 2回

居住支援フォーラム 1回

住宅相談会 1回

住宅相談窓口担当者等講習会 1回

## 4 地域包括支援センター事業【地域包括ケア推進係】

### 1 基幹型地域包括支援センター事業 <鈴鹿亀山地区広域連合委託事業>

高齢者の方々が安心して暮らしていくことができるよう総合的な相談支援を行うとともに、2か所の地域包括支援センターの平準化や後方支援の役割を担いました。

また、令和4年度から、新たに自立支援型地域 ケア会議を開催するとともに、地域包括支援センターと連携しながら、地域ケア会議への出席及び開催支援等を行い、地域の新たな仕組みづくりにつなげる働きかけを行いました。

- ・ 亀山市基幹型地域包括支援センターきずな（亀山市社会福祉協議会）
- ・ 亀山第1地域包括支援センターぼたん（安全福祉会）
- ・ 亀山第2地域包括支援センターもくれん（安全福祉会）

#### ①総合相談支援

高齢者の生活や認知症などの疾患、介護保険制度、施設入所などに関する相談や悩みのほか、福祉や医療、生きがいなどの相談に応じました。

##### ◆相談件数 (単位：件)

	4年度	3年度	増減
延べ対応件数	617	624	△7

##### ◆うち成年後見相談件数 (単位：件)

	4年度	3年度	増減
延べ対応件数	7	19	△12

##### ◆うち認知症相談件数 (単位：件)

	4年度	3年度	増減
延べ対応件数	68	127	△59

##### ◆地域包括支援センターからの相談件数 (単位：件)

	4年度	3年度	増減
延べ対応件数	52	103	△51

## ②地域包括支援センター運營業務の平準化

圏域において対応にばらつきがないよう地域包括支援センターとの情報共有や話し合いの場の設定を行いました。

### ◆地域包括支援センターワーキング

	回数	議 題
センター長会議	12回	亀山市・広域連合・各センター間の情報共有
保健師ワーキング	12回	介護申請状況データ・健康保険統計データ考察 川崎地区において健康教室の開催
主任CMワーキング	12回	自立支援型の地域ケア会議、地域課題、災害に関する研修会・BCPに関する意見交換会の開催
社会福祉士ワーキング	12回	高齢者虐待対応マニュアルの帳票の見直し、 虐待対応の周知啓発（デイサービス事業所向け研修会）、虐待対応ケースの振り返り

## ③地域包括支援センター(2圏域)への後方支援

### (1) 個別ケア会議への出席及び開催支援

地域包括支援センターの支援として、困難事例に対し地域包括支援センターと協働し、同行訪問やケース検討を行いました。また、地域包括支援センターが主催する個別ケア会議を開催できるよう、専門的な視点で話し合いを行うほか、関係機関の調整を支援しました。

実施日	議 題	担当包括
5月11日(水)	妄想が著しく意思疎通が困難で、地域の支援を望まない 独居高齢者の見守りについて	第2包括
5月30日(月)	認知機能低下がみられる独居の方の地域の支援について	第1包括
8月29日(月)	徘徊が頻回になり、目が離せない状況となったため、関係者の情報共有と今後の生活について	第2包括

### (2) 地域ケア圏域会議の出席及び開催支援

開催目的	能褒野地区における認知症高齢者の見守り体制の検討
議題の設定	個別の事例から抽出された課題
協議回数	6回
担当包括	基幹型包括 第1包括
参加者	自治会長、民生委員・児童委員、老人クラブ・亀山警察署 第1層、第2層生活支援コーディネーター、市地域福祉課高齢者支援グループ
内容・結果	地区全体でLINEを使った検索システムを構築した。毎年配信テストを実施し、継続していく。



開催目的	ゴミ出し支援についての検討
議題の設定	専門職から意見聴取した課題
協議回数	8回
担当包括	基幹型包括、第1包括、第2包括
参加者	訪問介護事業所連絡会(7事業所)、市地域福祉課高齢者支援グループ
内容・結果	亀山市地域ケア推進会議にて現状報告し、課題共有を行った。

開催目的	川崎地区におけるフレイル予防の推進
議題の設定	専門職から意見聴取した課題
協議回数	2回
担当包括	基幹型包括、第1包括
参加者	川崎地区まちづくり協議会役員
内容・結果	介護保険申請状況や国民健康保険医療費に関する統計から川崎地区にフレイルを主訴とする新規申請が多い。そこで川崎地区にこの状況を伝え、行動変容の必要性を促した結果、まちづくり協議会の協力を得て、シリーズ化したフレイル予防教室を開催。

開催目的	高齢者の移動支援について協議
議題の設定	専門職から意見聴取した課題
協議回数	8回
担当包括	基幹型包括、第1包括、第2包括
参加者	地域に関わりを持つ専門職のネットワーク会議 【メンバー】 第1層・第2層生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー、社会福祉協議会、市地域福祉課高齢者支援グループ、市地域医療課地域連携グループ、認知症地域支援推進員 第1包括、第2包括、基幹型包括
内容・結果	地域での移動手段に関する現状から課題を抽出し、取り組める事項について検討。電動カート体験会の開催、住民の支え合いによる移動支援についての検討等を行い、市高齢者支援グループ及び市交通政策グループと情報共有を行うことができた。

### (3) 高齢者虐待対応

通報、相談を受けた案件について地域包括支援センターとともに現地状況確認、相談支援を行いました。また、市主催のコアメンバー会議に出席し、昨年度から対応継続している案件も含め、今後の対応と虐待判定について協議を行いました。

#### ◆相談対応件数 (単位：件)

	4年度	3年度	増減
新規相談件数	12	17	△5
延べ対応件数	79	86	△7

#### ◆相談内容（重複あり） (単位：件)

	4年度	3年度	増減
身体的虐待	13	33	△20
経済的虐待	20	40	△20
精神的虐待	6	36	△30
性的虐待	0	0	0
介護放棄	45	24	21

### ④ネットワークの構築

個別の検討では解決できない地域の高齢者に共通する地域課題等を把握するとともに、行政職員や専門職が参加し関係機関同士のネットワーク構築や課題解決のしくみづくりの協議の場として開催しました。

開催目的	回数	参加者
地域に関わりを持つ専門職の役割の共有とネットワーク構築	9回	第1包括、第2包括、認知症地域支援推進員、第1層、第2層生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー、市地域医療課地域医療グループ

### ⑤地域課題・地域資源の把握及び仕組みづくり

上記の取組を実施しながら、亀山第1・第2地域包括支援センター、第1層・第2層生活支援コーディネーター等と協力し、新たな仕組みづくりについて協議を進めました。

#### (1) 能褒野地区の高齢者見守りネットワーク

地域の有識者と昨年度から通算8回程度協議し、高齢者の行方不明者等の早期発見に繋げるよう、自治会に由来からある通信手段LINEを活用したネットワークを構築し、11月に配信テストを実施しました。

#### (2) 訪問介護事業所同士のネットワークを構築

事業所間での連携と資質向上を目的に年6回、訪問介護事業所連絡会を開催しました。事業所間の共通の課題である、ゴミ出し支援に関わる課題について、亀山市の参画を得ながら協議を重ね、亀山市地域ケア推進会議において、課題の提案を行いました。

### (3) データ分析からの事業化

地域包括支援センター保健師ワーキングが中心となり、介護保険の申請を行う状況や理由、背景となる疾患状況等の調査の結果や地区の国保医療費データ等を分析し、その結果から地区活動につなげる取り組みとして、フレイル予防について川崎地区ますます健康教室が開始することになりました。

#### ◆ますます健康教室（申込者数 22 名）

（単位：名）

日 程	参加者数	主な内容
2月22日（水）	15	健康チェック、講話、健康体操、グループワーク
3月22日（水）	17	健康体操、グループワーク

### (4) 施設入所者の入所時の状況調査

昨年度に引き続き、市内特別養護老人ホーム(5事業所)の入所者 37 名を対象に、入所当時の利用サービス状況や心身状況・入所理由等を中心に聞き取り調査を行い、介護が必要になっても住み慣れた地域・家で自分らしい暮らしを望む方々が在宅生活を継続するために必要なサービスや状況を確認する取り組みを行いました。

### (5) 自立支援型地域ケア会議の開催

令和 4 年度から事業対象者や要支援者等について、多職種の専門的な助言を通じ自立支援に資するケアマネジメントの質の向上や、地域包括支援センター等の職員のスキル向上を図ることを目的に開催しました。

開催日時	テーマ	事例提供	出席者
10月19日（水）	・円背の方の食事や姿勢について ・疾患の理解と適切なリハビリについて	第 1 包括 第 2 包括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士</li> <li>・作業療法士</li> <li>・薬剤師</li> <li>・歯科衛生士</li> <li>・管理栄養士</li> <li>・第 2 層生活支援 コーディネーター</li> <li>・鈴鹿亀山地区広 域連合</li> <li>・市地域福祉課高 齢者支援グループ</li> </ul> <p>【開催事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹型包括</li> </ul>
11月16日（水）	・疾患のある方の目標設定について ・転倒予防と適切なリハビリについて		
12月21日（水）	・高次機能障害による行動抑制ができない方の接 し方 ・アルコール・経済問題と適切なリハビリについて		
1月18日（水）	・要介護 1 から要支援 1 となった医療介護サービ スが必要な方へのサービス調整について ・サービス利用中ケースを引き継いだ際の着目点 について		
2月15日（水）	・家族の転倒不安から本人の行動が抑制され、生 活不活性化が心配な人への支援 ・不安感の強い方への軽減医つながる支援		
3月15日（水）	・体重管理と一人暮らし継続のための支援について ・骨折後の低栄養のある高齢者の支援について		

## (6) 地域ケア推進会議への参加

地域ケア圏域会議で検討された内容を、地域づくり・地域の資源開発・政策形成等につなげるため、亀山市が開催する地域ケア推進会議に参加し、現状報告及び現状に対する意見交換を行いました。

テーマ 「ごみ出し支援について」

- ・高齢化が進む中、ごみ出しに困る高齢者世帯等への支援について、訪問介護員等が通常のごみ収集日程に限らずごみを出せる回収箱を設置する四日市市の福祉サービスと連携したごみの収集についての共有や市内訪問介護事業所を対象としたアンケート調査の結果について説明し、課題の解決方法について参加者の方々と意見交換を行いました。

## 2 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置 <市委託事業>

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう本会に配置している第1層生活支援コーディネーターと社会福祉法人安全福祉会に配置された2名の第2層生活支援コーディネーターとともに、生活支援・介護予防のしくみづくりを進めました。

- ・第1層生活支援コーディネーター [市全域] (亀山市社会福祉協議会)
- ・第2層生活支援コーディネーター [2圏域] (安全福祉会)

### ①地域の現状把握

市内にある各まちづくり協議会(22地区)を単位として人口・世帯・高齢化率のデータをはじめ、地域の福祉・医療・教育等の社会資源やインフォーマルな活動も含め「見える化」を図るため、令和4年度版地域福祉カルテを作成しました。昨年度に引き続き、市まちづくり協働課と協働で作成し、内容の充実を図りました。

また、高齢者の生活支援に活用できる地域内の社会資源を整理・共有し、ニーズとのマッチングに活用できるよう昨年度初めて作成した「高齢者のための社会資源のしおり」を第2層生活支援コーディネーター・基幹型地域包括支援センターと連携し、改訂作業を行いました。

【配布先】地域まちづくり協議会(福祉委員会)	22部
民生委員・児童委員、主任児童委員	97部
市内居宅介護支援事業所	19部
市内小規模多機能型居宅介護	2部
市内介護予防支援事業所	2部
市健康福祉部地域福祉課	1部

## ②ふれあい・いきいきサロン活動の推進

地域の社会資源であるふれあい・いきいきサロンへ訪問し、活動の把握に努めました。また、ふれあい・いきいきサロンの情報を多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）において共有をし、ケアマネジャーからの依頼を受け、サロンを利用したいというニーズと団体のコーディネートを行いました。3月には令和5年度の事業説明を兼ねて交流会を開催し、団体間において交流を深めることによりサロン活動の充実を図りました。

### (1) ふれあい・いきいきサロン助成事業 <介護予防普及啓発事業>

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		4年度 箇所数	3年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	83	85	△2	2,904,000	22,308
	新規	1	6	△5	36,000	
	計	84	91	△7	2,940,000	

### (2) ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催しました。

実施日 令和5年3月20日(月)【午前の部】10時00分～11時30分

【午後の部】14時00分～15時30分

※新型コロナウイルス感染症感染対策のため、人数を半分に分けて午前・午後の2部制で開催。

場 所 社会福祉センター

内 容 (1) みんなでやってみよう♪介護予防体操

講 師：【午前の部】亀山第1地域包括支援センター ぼたん

【午後の部】亀山第2地域包括支援センター もくれん

(2) 令和5年度事業説明

参加者 56名(午前の部：31名 午後の部：25名)

## ③住民同士の支え合い活動（ちょこボラ）の推進

高齢化が進む中、ゴミ出しや草刈りなどちょっとした困りごとを住民同士の助け合いで解決するしくみ「ちょこボラ（ちょこっと・ボランティアの略称）」を推進しています。地域まちづくり協議会（22地区）のうち、令和4年度は4地区（昼生、井田川北、城北、坂下）がちょこボラ活動に取り組んでおり、団体の立ち上げ支援や会議の場に参加し情報収集を行う等活動の支援に努めました。また、「ちょこボラ養成講座」を開催し、他地区にも活動が広がっているよう地域まちづくり協議会に対して周知啓発を行いました。

(1) 話し合いの場等への参加回数

(単位：回)

活動先	回数	活動内容
ええやん助け合いよろづや縁 (坂下地区まちづくり協議会)	1	集いの場への参加
城北サポート隊 (城北地区まちづくり協議会)	4	住民参加型在宅福祉サービス立ち上げ支援、 設立総会への参加他
フレンドサービス (昼生地区まちづくり協議会)	2	支援者会議への参加

(2) ちょこボラ養成講座

実施日 令和4年12月22日(金)

場 所 社会福祉センター

内 容 (1) 講義 漕代まちづくり協議会(松阪市)まかせて!!漕代支援隊  
隊長 岡田 賢一 氏 副隊長 西田 尚史 氏

(2) 亀山市ちょこボラ団体活動紹介VTRの上映

(3) 亀山市地域介護予防活動支援事業補助金について

参加者 50名(まちづくり協議会、民生委員等43名・その他7名)

④地域でのネットワークの構築

地域包括支援センターが主催する地域ケア圏域会議において、地域包括支援センター、第2層生活支援コーディネーター等と協働し、地域での見守り体制の構築などネットワークの構築に取り組みました。また、地域に関係するネットワーク会議を開催し、専門職同士の情報共有や個別ケースの傾向などを共有し、個別支援から地域課題を抽出し、地域づくりにつなげられるよう会議体の在り方を基幹型地域包括支援センターとともに検討しました。

**3 認知症初期集中支援チーム員、認知症地域支援推進員の配置** <市委託事業>

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、早期発見と適切な対処につながる支援ができるようチーム員医師・サポート医・関係機関との連携を継続しています。

①相談件数

(単位：件)

	4年度	3年度	増減
相談件数	207	260	△53
相談者数	52	49	3
初期集中支援チーム支援対象者数	12	12	0

## ②チーム員会議の開催

チーム員医師との情報共有を実施し、個別ケースでの関り方や支援について方向性の確立と見直しを行いました。

ケース支援を強化するため、市高齢者支援グループ、基幹型及び地域包括支援センターも参加し協議を行っています。

開催回数 11回開催（月1回開催）※ケース該当なく中止（7月）

## ③認知症関係会議への参画

市が主催する認知症関係会議（認知症初期集中支援チーム活動検討委員会含）に参画し、認知症施策に関する報告や課題の評価・検討等をチーム員医師・サポート医と共に協議しました。

開催日 6月28日、10月17日、2月13日（年3回）

## ④認知症初期集中支援チームの周知啓発

認知症初期集中支援チームをより知ってもらうために、チームのチラシをリニューアルするとともに、インターネットを使用した相談窓口を新たに開設しました。

## ⑤認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成しています。

（単位：名）

実施日時	内容	参加者
7月12日	亀山市立亀山西小学校6年生①	48
7月12日	亀山市立亀山西小学校6年生②	47
7月22日	亀山市立医療センター職員	20
9月7日	サロン本町一二三会	11
10月25日	亀山市立亀山東小学校4年生	88
11月12日	井田川北まちづくり協議会福祉委員	20
11月18日	亀山市立関小学校4年生	39
1月23日	亀山市立昼生小学校6年生	10
1月26日	東海労働金庫亀山支店	9
1月28日	市内まちづくり協議会新任福祉委員	38
2月2日	亀山市役所職員	11
2月10日	亀山市立川崎小学校4年生	70
2月10日	亀山市立加太小学校4年生	9
2月17日・24日	亀山高等学校総合生活科2年生	39
3月25日	一般（子どもと保護者が対象）	10
3月25日	一般	21
	計	490

## 4 福祉サービス事業【福祉サービス事業係】

### 1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（令和5年3月31日現在）

・常勤：2名、登録：10名 <前年度末 常勤：2名、登録：12名>

#### ①介護保険制度

##### （1）訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	4年度	3年度	増減
利用延べ人数	323	397	△74
派遣延べ回数	6,059	7,466	△1,407
事業収入	19,885,408	23,653,939	△3,768,531
派遣時間数	3,930.25	4,619.5	△689.25

##### （2）介護予防・日常生活支援総合事業

要支援及び事業対象者と認定された方に、介護予防を目的として調理、洗濯などの日常生活上の支援を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	4年度	3年度	増減
利用延べ人数	213	286	△73
派遣延べ回数	1,213	1,763	△550
事業収入	3,722,817	5,361,295	△1,638,478
派遣時間数	1,145	1,574.5	△429.5

#### ②障害者総合支援制度

##### （1）居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

	4年度	3年度	増減
利用延べ人数	215	232	△17
派遣延べ回数	1,715	1,792	△77
事業収入	5,000,771	5,325,035	△324,264
派遣時間数	1,352	1,407	△55



## (2) 同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に外出するための移動支援を行いました。  
(単位：名、件、円、時間)

	4年度	3年度	増減
利用延べ人数	9	8	1
派遣延べ回数	17	13	4
事業収入	81,573	96,737	△15,164
派遣時間数	26	36	△10

## ③地域生活支援事業<市委託事業>

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いますが、令和4年度は利用実績がありませんでした。

## 2 生活介護事業 【指定障害福祉サービス事業所「つくしの家」】

### ①職員配置

(単位：名)

職名		つくしの家	なかまの部屋		
管理者			1		
サービス管理責任者			1		
医師			1		
看護師			1		
生活支援員	常勤	正規	1		
		嘱託	0		
		非常勤	5		
	非常勤(登録)(兼務)	4			
		0	1	2	1

### ②利用実績

(1) つくしの家(主たる事業所：定員25名)

(単位：名、回、円)

	4年度	3年度	増減
利用者数	28	26	2
延べ利用人数	4,543	4,125	418
送迎利用回数	7,323	6,766	557
事業収入	35,357,951	30,100,798	5,257,153

### 【新型コロナウイルス感染症に伴う休所期間】

・令和4年7月28日～令和4年8月5日(つくしの家関係者に陽性者が確認されたため)

(2) なかまの部屋 (従たる事業所：定員 12 名)

(単位：名、回、円)

	4 年度	3 年度	増減
利用者数	5	7	△2
延べ利用人数	514	988	△474
送迎利用回数	754	1,108	△354
事業収入	5,574,003	9,005,588	△3,431,585

③創作的活動 (年間行事)

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに、様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

令和 4 年度は利用者の交流を図るため、つくしの家となかまの部屋と合同で年間行事を行いました。

実施日	行事名	場所
4 月 8 日 (金)	季節の行事 (花見)	亀山公園
5 月 20 日 (金)	デリバリーランチ	つくしの家
6 月 1 日 (水) 2 日 (木) 3 日 (金)	季節の行事 (花菖蒲園見学)	亀山公園内花菖蒲園
7 月 8 日 (金)	季節の行事 (七夕茶会)	つくしの家
8 月 26 日 (金)	季節の行事 (夏祭り)	つくしの家
9 月 30 日 (金)	デリバリーランチ	つくしの家
10 月 28 日 (金)	季節の行事 (ハロウィン・デリバリーランチ)	つくしの家
11 月 18 日 (金)	キックベースボール大会	つくしの家
12 月 17 日 (土)	ナイスハートスポーツ大会	西野公園
12 月 23 日 (金)	季節の行事 (クリスマス会・デリバリーランチ)	つくしの家
1 月 4 日 (水)	初詣	亀山神社
1 月 6 日 (金)	二十のお祝い会	つくしの家
2 月 3 日 (金)	季節の行事 (節分)	つくしの家
3 月 3 日 (金)	季節の行事 (ひなまつり)	つくしの家
<p>◆余暇活動 軽スポーツ (ウォーキング・ボッチャ・ボール当てゲーム等) 制作活動 (写真パネルづくり・折り紙・アートタイム等)</p> <p>◆体調チェック 看護師によるバイタルチェック (週 1 回) 健康診断 (年 1 回) 歯科検診 (年 1 回) 嘱託医師による定期健診 (年 2 回)</p> <p>◆その他 避難訓練 (年 3 回、内 2 回は全館避難訓練)</p>		

#### ④地域交流

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学生職場体験の受入は中止しましたが、白川小学校の生徒とメッセージの交換やオンライン交流をはじめ、三重大学生とのオンライン交流や関地区民生委員児童委員と年賀状を通して交流を行うなど、障がい者への理解を深めてもらえるよう啓発に努めました。

実施日	行事名	場所
11月30日（水）	白川小オンライン交流会	つくしの家
12月7日（水）	三重大生オンライン交流会	つくしの家
12月22日（木）	民生委員・児童委員への年賀状作成	なかまの部屋

#### ⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあった軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

委託先	作業内容	場所
(株) アシベ工芸	ろうそく箱詰め	つくしの家 なかまの部屋
長田隆尚後援会	チラシ折り・封入作業	つくしの家
自主作業（佐藤商店）	アルミ缶つぶし	つくしの家

#### ⑥利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、利用体験実習の受入を行いました。

学校名	学年	性別	期間
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校2年	男	令和4年6月13日～6月24日 令和4年12月6日～12月9日
杉の子特別支援学校石薬師分校	高校1年	男	令和5年1月23日～1月27日

#### ⑦三重県介護等体験に係る介護体験者の受入

小学校および中学校教諭の普通免許状取得希望者が社会福祉施設等において行う介護体験等の場として受入を行いました。

学校名	学年	性別	期間
鈴鹿大学	2年	女	令和4年9月5日～9月9日
鈴鹿大学	2年	女	令和4年9月26日～9月30日

### ⑧運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画等について、また今後の事業運営について協議を行いました。

実施日	内 容
9月26日（月）	令和3年度事業報告について 今後の事業所運営について
12月1日（木）	経過報告（9月～11月）と今後の事業所運営について
2月6日（月）	委員長、副委員長の選任について 令和4年度事業経過報告について 令和5年度事業運営について

### 3 日中一時支援事業 <市受託事業>

障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息ができるよう実施しました。主に生活介護の開所時間外の利用や、特別支援学校生徒の利用がありました。

（単位：名、円）

	4年度	3年度	増減
契約者数	27（うち生徒2名）	23（うち生徒3名）	4
延べ利用人数	106	148	△42
事業収入	147,680	263,360	△115,680

### 4 特定・障害児相談支援事業

障害福祉サービス等を申請した障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画の作成及び支給決定後の計画の見直しを行いました。

#### ①特定相談支援 （単位：名、円）

	4年度	3年度	増減
契約者数	73	77	△4
事業収入	2,682,465	2,845,480	△163,015

#### ②障害児相談支援 （単位：名、円）

	4年度	3年度	増減
契約者数	13	14	△1
事業収入	459,231	639,314	△180,083

## 5 社会福祉センターの運営 <市補助事業>

### ◆年間利用状況〈3階集会室〉 (単位：件、名)

	4年度	3年度	増減
利用件数	452	334	118
利用人数	8,209	5,873	2,336

【新型コロナウイルス感染症に伴う休館期間】

・令和4年7月28日～令和4年8月4日（つくしの家関係者に陽性者が確認されたため）

### ◆主な工事及び修繕の執行状況】 ※契約金額 10万円以上

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修工事	令和4年5月26日	令和4年11月15日
1階正面玄関自動扉改修工事	令和4年6月8日	令和4年8月31日
2階事務室照明器具取替修繕工事	令和5年2月10日	令和5年2月28日

## 5 その他

### ①関係機関への協力、参加（主なもの）

（単位：回）

委員会名	実施主体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市法福連携ネットワーク協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長 次長
亀山市民生委員推薦会委員会	健康福祉部 地域福祉課	2	会長
亀山市高齢者福祉推進協議会	健康福祉部 地域福祉課	1	会長 次長
亀山市高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 地域福祉課	1	局長
亀山市要保護児童等・DV 対策地域協議会	健康福祉部 子ども未来課	1	会長
亀山市共同募金運営委員会	亀山市共同募金委員会	2	会長 局長
亀山市国民保護協議会	防災安全課	1	会長
亀山市防災会議	防災安全課	1	会長
亀山市水防協議会	防災安全課	1	会長
亀山市スポーツ協会監査及び通常総会	亀山市スポーツ協会	2	局長
市民活動応援制度審査検証委員会	市民文化部 まちづくり協働課	2	主幹
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	9	所長 主幹
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	局長
地域密着型サービス事業者選定部会	鈴鹿亀山地区広域連合	2	局長
三重県社会福祉協議会役員会及び理事会	三重県社会福祉協議会	5	会長
三重県社会福祉施設職員研修委員会	三重県社会福祉協議会	2	局長
みえ福祉の「わ」創造事業監査及び運営委員会	三重県社会福祉協議会	2	局長

# 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会 組織・事務機構図

【令和5年3月31日現在】

